

○平成 20 年度事業に係る中間報告

(財)民間都市開発推進機構は、平成 19 年月 10 月に創立 20 周年を迎えるに当たり、従来の枠組みを超えた知恵を結集し、民間の能力を生かした都市開発を円滑に進めるため、大学との連携を図る都市再生研究助成事業を開始した。

機構は、大学研究室等が行う、広範囲の研究分野における都市、特に地方都市の再生に関する総合的な研究計画を選定し、各大学へ奨学寄附として都市再生研究助成金を交付している。

平成 20 年度においては、公募により、申請のあった 37 件の中から、金沢工業大学、福島大学、大阪大学及び九州大学の 4 件を平成 20・21 年度の助成対象として選定した。

選定に当たっては、都市再生研究選定委員会(委員長:伊藤滋 早稲田大学特命教授・機構理事兼都市研究センター所長、委員:大西隆 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授・都市研究センター研究アドバイザー、鈴木 敦 都市研究センター副所長兼研究理事、大木健一 都市研究センター研究理事)を開催した。

以下、平成 21 年 3 月 23 日(月)機構で行われた、平成 20 年度採択された 4 大学の研究の中間報告の概要をご紹介します。